

封戸 位田

續日本紀、神護景雲二年十月甲子、充能登國氣多神封廿戸、田二町、〔文德實錄、仁壽三年八月癸酉、加正二位勳一等氣多大神封戸十畑、位田二町、

社職 把笏

類聚國史、延曆廿三年六月丙辰、制、〔能登國氣多神社云々等宮司、人懷競望、各稱譜第、自今以後、神祇官檢舊記、常簡氏中堪事者擬補申官、〕續日本後紀、承和元年九月癸酉、坐能登國、正三位勳一等氣多大神宮禰宜祝二人、始令把笏、〔式三、臨時凡諸神宮司禰宜季祿者、略能登國氣多神宮司、准少初位官、以封之。〕

雜事

朝野群載云、康和五年六月十日、奏龜卜御體御卜云々、坐能登國氣多神、才元永曆四年六月十日、〔同上〕坐能登國氣多神、

神代神社

神代は加宇志呂と訓べし○祭神倉稻魂命〔神代村に在す、同例祭〕

雜事

朝野群載云、康和五年六月十日、奏龜卜御體御卜、〔中坐能登國神代神云々、以下前に略坐能登國神代神云々、同下〕

羽咋神社

羽咋は郡名に同じ、和名鈔、〔郡名羽咋、波久〕○祭神石撞別命〔神代村に在す、同例祭〕 月

沼一本治に作る

日、○古事記、〔垂仁〕又娶大國之淵之女弟新羽田刀辨、生御子石衝別王、羽咋君之祖、〔姓氏錄、右京京羽咋公、垂仁天皇皇子磐衝別命之後也、別下〕

瀬戸比古神社

瀬戸比古は假字也○祭神明か也、〔神社帳云、素部乃桑留美命、乃桑留美命、〕○直海村に在す、同例祭

手速比咩神社

手速は天波夜と訓べし、比咩は假字也、○祭神明か也○東間村に在す、〔神社帳〕例祭

椎葉圓比咩神社

椎葉圓は志比波乃麻登と訓べし、比咩は假字也、○祭神明か也、〔神社帳云、久志伊奈太、支正與麻奴真比賣命、〕○在所分明ならず、〔柴垣村柴垣社、圓井村白山宮、共に比咩神社といふ、孰れ正しき歟。〕○古事記、〔開化〕美知能宇志王娶丹波之河上之摩須郎女、生子云々、〔次真砥野比賣命、〕

奈豆美比咩神社

奈豆美比咩は假字也○祭神明か也、〔神社帳云、豐玉姬命、〕○安津見村に在す、同例祭

諸岡比古神社

諸岡は毛呂婁加と訓べし、比古は假字也、○祭神明か也○小室村に在す、〔神社帳〕例祭

百沼比古神社

百沼は毛々奴麻と訓べし、比古は假字也、○祭神明か也○百浦村に在す、〔神社帳〕例祭

久麻加夫都阿良加志比古神社